

目次

ごあいさつ	・ ・ ・ ・ ・ 佐藤 絢	
目次		i
会議日程		iii
参加者名簿		iv
<論文>		
ドイツ語話者の作文に見られる修辞法	・ ・ ・ ・ ・ 加藤 恵梨	1
日本語モダリティの理解のために	・ ・ ・ ・ ・ 重盛 千香子	11
—スロヴェニア語との対照から—		
生成 AI を有能な赤ペン先生にするプロジェクト	・ ・ ・ ・ ・ 李 在鎬	17
大学教育における iDMC モデル	・ ・ ・ ・ ・ チェントム・アンドレア	25
—動画制作を通じた日本文化発信と異文化理解の促進—		
クロアチア語母語話者の日本語学習者は、「依頼場面」で可能形式をいかに用いるか	・ ・ ・ ・ ・ 村田 恵美	39
—I-JAS コーパスにおける依頼場面の発話データをもとに—		
気になるあの子、その後	・ ・ ・ ・ ・ 若井 誠二	49
七福神再考（その二）	・ ・ ・ ・ ・ 蓮沼 啓介	57
—七福神に明日はあるか？—		
発話キャラクターに見る伝聞表示形式の選択傾向	・ ・ ・ ・ ・ 蓮沼 昭子	63
— [ソウダ] [ンダッテ] の出現形の選択に関する要因—		
漢字学習に対する意識と学習ストラテジーに関する一考察	・ ・ ・ ・ ・ 田村 知佳	87
—ラトビア大学の中上級レベルを例に—		
映画を読む CLIL の授業実践	・ ・ ・ ・ ・ 村田 裕美子	96
—映画『フタバから遠く離れて』—		
中世から近代の辞書に見る字音の消長	・ ・ ・ ・ ・ 黒沢 晶子	106

— 呉音 —

非漢字圏出身の学習者に対する仮名学習 袴田 麻里 121

— カタカナからの導入 —

日本語教育史研究の展開 小川 誉子美 132

キリシタン時代の研究を例に可能性を探る

新漢字教材の共同出版について 善如寺 俊幸 141

夜間中学における日本語教育 土屋 千尋 146

日本語とセルビア語の過去形の対照研究 . . . トリチコヴァ・イッチ・ディヴナ 154

小喃導入の実践報告 中野 二郎 166

— 「演じる」効果を中心に —

エコトーンとしてのトランス・ランゲージングがもたらすもの 奥野 由紀子 176

— 日本と北欧を移動する若者の会話事例からの考察 —

「敬語コミュニケーション」講座のゲスト・セッション活動 川口 義一 184

欧州高等教育機関日本専攻における卒業論文と日本語授業の
関係 内川 かずみ 191

— インタビュー調査結果の考察 —

ある外国ルーツの若者が大学進学・卒業・就職に至った過程 山森 理恵 200

— 複線径路等至性モデリング (TEM) による分析から —

メール文にみられる「ことができる」の使用状況 金庭 久美子 213

— 提出遅れを伝えるメール文を用いて —

< 機関報告 >

デブレツェン大学日本語コース 佐藤 絢 225

カーロリ・ガーシュパール・カルヴィン派大学人文社会学部 227

東アジア研究センター 日本学科

ザグレブ大学 哲学部 アジア研究学科 日本研究 231